



実験観察

お役立ち情報！

さっぽろの地層

札幌誕生

札幌はこれまで“海の時代”と“火山の時代”、“暖かな環境”と“寒い環境”を過ごし、人々が集い、営む台地を形成してきました。カイギュウの棲む海の時代から現在まで、札幌誕生までの様子を見てみよう！

800万年前

カイギュウが泳ぐ海の時代

札幌は定山溪の周辺に火山活動でできた島が点在し、その周辺の浅瀬には海藻を食べるカイギュウが生息していた。海の沖合いには大きなクジラやイルカの群れが泳いでいた。

サッポロカイギュウの子どもは、お母さんのいる800万年前の海に帰っていったよ。

現代

緑あふれる現在の札幌が誕生

1万年前、氷河期が終わると豊平川は大量の土砂を上流から運び、下流で水はけのよい台地(扇状地)を形成した。やがて、そこに人が住みはじめた。明治以降、開拓が進められ街は大きくなっていった。

400万年前

火山活動が活発化

浅くなった海で、火山活動が活発になり、札幌の南西部に広がる山々が徐々に高く形成されていった。

4万年前

支笏大火砕流

支笏火山が大爆発を起こし、札幌は一面厚い火砕流に覆われた。

150万年前

東西の方向から圧縮され丘陵ができた

石狩低地帯が東西方向から押され、地表にシワが寄ることによって丘陵と馬道丘陵が形成された。

札幌市博物館活動センター さっぽろ時空探検

I 札幌で見られる地層スポット

- | | |
|-----------------|-----------------|
| サッポロカイギュウの化石発掘跡 | → 豊平川 砥山栄橋付近 |
| 露頭 | → 豊平川 八剣山トンネル付近 |
| 貝化石 | → 豊平川 八剣山トンネル付近 |
| 柱状節理 | → 豊平川 御料橋下 |

※ その他、豊平川の河原ではクジラの化石も発見されています。

(問い合わせ先：札幌市博物館センター)

トンネル前にある果樹園の脇の道を川の方に向かっていきます。河原の足下を見ると貝化石が発見できるかも・・・

中山峠

露頭

サッポロカイギュウ

場所は博物館センターに問い合わせた方がいいます。

柱状節理

柱状節理は上から見るのができ、六角形になっていることがよくわかります。

札幌



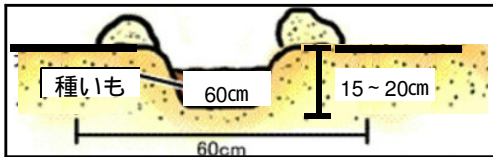
ちなみに、黒松内町ではサンゴの化石が産出しているよ。

ジャガイモの栽培

「うね切り」のことはあまり意識しなくてもいいよ!



【畑の準備】 植える幅には余裕をもたせて作りましょう。



【種いも】

小



そのまま

中



半分に切る

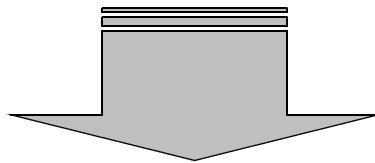
大



4分の1に切る

※ 平坦な状態に穴を開けるだけでもいいです。

※ 畑は、よく耕してください。



【種イモ 植え】 定期的に管理しましょう。



・種イモの切り口を下にして植える。

・10cmほど芽が伸びたら、細い芽を摘む。



【土寄せ】

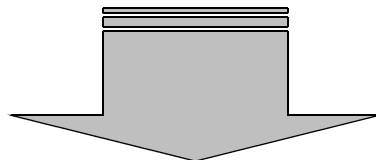
・定期的に土を寄せ、いもが日に当たらないようにする。

(10cmのびるごとに)



※ 寄せる土が足りない場合は、足す。

※ 土寄せをすることで畑が山型になります。



【収穫】 花が咲き終わり、茎や葉が黄色く枯れてきたら収穫の時期です。



・収穫したいもは日陰でよく乾燥させる。

・日が当たると緑色になり、毒素(ソラニン)が生成されてしまう。その部分は取り除く。

※ 収穫する時は、イモを傷つけないよう気をつけましょう。